



## 西武新宿線の立体化の熱い思いを都に届ける！ ～ 立体化促進協議会の結成後初めての要請～

29日、前川耀男区長（西武新宿線立体化促進協議会会長）は区民、区議会議員とともに都庁を訪れ、西武新宿線（井荻～東伏見駅付近）の立体化の早期実現に関する要望書を提出しました。

前川区長は、「西武新宿線の立体化は沿線の住民の皆様はもちろん、区民の皆様にとって、長らくの悲願。昨年11月、鉄道の立体化を前提として外環の2の都市計画の変更が決定された。これを契機として鉄道立体化を促進したい。今月25日に西武新宿線立体化促進協議会を結成した。これを契機に都としても積極的に

鉄道立体化に取り組んでいただきたい。区としてもまちづくりを積極的に進めて、力をあわせて頑張っていきたい。」と、鉄道立体化の早期実現を要望しました。

対応した安藤副知事は、「鉄道の連続立体交差化は大変大きな課題であり、西武新宿線も大事な路線であることは重々承知している。地元のまちづくりとの連携が非常に大事。外環の2とあわせて、西武新宿線の連続立体交差化の課題に取り組み、区と連携して進めていきたい。」と話しました。



【安藤副知事へ要望書を手渡す前川区長】

### 【要望書】別紙資料のとおり

#### 【区内全区間を含む井荻～東伏見駅付近について】

区内全区間を含む、井荻～東伏見駅付近について、東京都は、平成16年6月策定の「踏切対策基本方針」において、「鉄道立体化の検討対象区間」として位置付けました。平成20年6月には、この区間を、連続立体交差事業の「事業候補区間」に位置付け、事業化に向けた取組を進めるとしています。

#### 【外環の2の整備】

昨年11月、東京都は、交差する西武新宿線の立体化を前提に、外環の2の都市計画の変更を決定しました。上石神井駅の西側には、5千平方メートルの交通広場を設置する計画となっています。外環の2は、街路樹を充実し、広い歩道と自転車道を整備する計画となっています。

#### 【鉄道立体化の早期実現に向けた、区のこれまでの取り組み】

鉄道立体化の実現にあたっては、周辺の道路や駅前広場の整備など、沿線のまちづくりを一体的、総合的に進めることが重要です。上井草駅、上石神井駅、武蔵関駅の3駅の周辺地区では、それぞれ、地域住民によるまちづくり協議会において、鉄道立体化を見据えたまちづくりの方向性が取りまとめられました。区は、これを受けて、各駅周辺地区の「まちづくり構想」を策定し、これらの構想の実現に向けたまちづくりの検討を地域の皆様と一緒に進めています。

#### 【西武新宿線立体化促進協議会の結成】

今月25日、「西武新宿線立体化促進協議会」が、沿線住民など200人以上の方々が集まり結成されました。地元選出の衆議院議員、都議会議員、東京都の関係部局の幹部、西武鉄道株式会社、隣接区市等を来賓に迎え、力強く結成宣言が行われ、鉄道立体化の早期実現に向けて、区民、区議会、区が一体となって、国や東京都、鉄道事業者に対し、要請活動等に取り組むことが確認されました。

#### 【問い合わせ】

環境まちづくり事業本部 都市整備部 交通企画課 交通企画担当係

電話03-5984-1274



【要望書を持参した協議会役員の皆様】



【1月25日に開催された結成大会会場の様子】

## 要望書

### 西武新宿線(井荻～東伏見駅付近)の立体化の早期実現に関する要望書

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

区内の西武新宿線には、13箇所の踏切が存在し、交通渋滞の発生や、踏切事故の危険性、地域の分断による生活の不便や沿線地域のまちづくりの遅れなどの問題を引き起こしています。

区内全区間を含む、井荻から東伏見駅付近は5本の都市計画道路と交差しています。これらの路線は南北交通の円滑化に資するとともに、環境面、防災面などの観点からも重要な道路です。このうち、「外環の2」について、都は、昨年11月、西武新宿線の立体化を前提として、道路構造を平面とするとともに、上石神井駅付近に約5,100㎡の交通広場を設置することとした都市計画の変更を決定しました。今後は、「外環の2」の早期事業化とともに、この機を捉えた西武新宿線の立体化の早期実現が求められます。

鉄道立体化の実現にあたっては、周辺の道路や駅前広場の整備など、沿線のまちづくりを一体的、総合的に進めることが重要です。上井草駅、上石神井駅、武蔵関駅の3駅の周辺地区では、それぞれ、地域住民によるまちづくり協議会において、鉄道立体化を見据えたまちづくりの方向性が取りまとめられました。区は、これを受けて、各駅周辺地区の「まちづくり構想」を策定し、これらの構想の実現に向けたまちづくりの検討を地域の皆様と一緒に進めています。

本年1月25日、井荻から東伏見駅付近の鉄道立体化の早期実現と「外環の2」を始めとした南北道路の整備等にあわせた沿線地域におけるまちづくりの推進を図るため、「西武新宿線立体化促進協議会」を設立しました。区民、区議会、区が一体となって、地域の力を結集し、区を挙げて取り組んでいます。

西武新宿線の井荻から東伏見駅付近の立体化の早期実現のため、以下2点を進めていただくようお願いいたします。

- 1 鉄道立体化に向けた調査や関係機関との調整を実施し、連続立体交差化の早期実現を図ること。
- 2 鉄道立体化を見据えた沿線地域のまちづくりについて、総合的に支援や協力を行うこと。

平成27年1月29日

西武新宿線立体化促進協議会  
会長(練馬区長) 前川 耀男

東京都知事  
舩添 要一 様

西武新宿線立体化促進協議会の構成員 ( )内は人数

- ・ 会 長：区長
- ・ 副会長：区議会議長、地元団体の代表(5)、副区長
- ・ 顧 問：区議会議員の有志
- ・ 構成員：町会・自治会、商店会、小・中学校PTA (31)